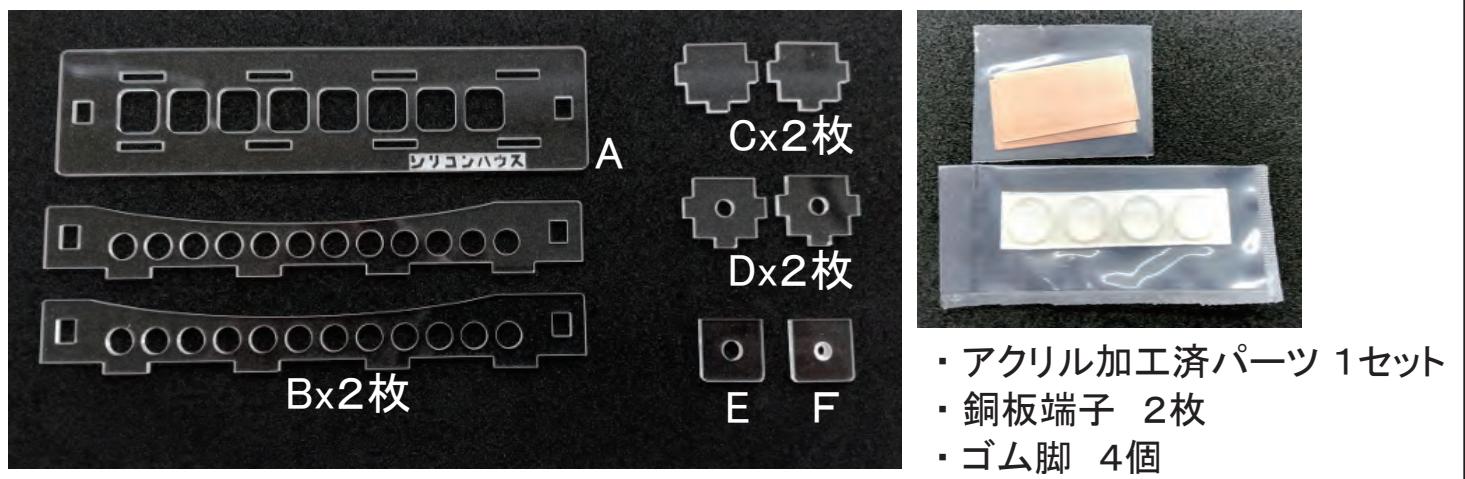


アクリル電池ホルダーパーツセット 組み立て説明書

パーティセットの内容物



その他必要な部品（タミヤ製のミニ四駆用パーティで揃う部品）



- ・M2x20mm ビス 1本
- ・ワッシャ 1枚
- ・スプリング※ 1個
- ・軽量スペーサセットの12mm スペーサ 1個
- ・M2ロックナット 1個
- ・M2ナット 1個

※スプリングはスライドダンパー2スプリングセットのハードがおすすめです。

他の物に変えて、電池を押さえる力を変更できます。

上記スプリングより硬いものを使用すると、アクリル材や電池の変形や破損を招く可能性があります。
スペーサおよびロックナットの色はお好みで選んでください。

その他工具や部材など



- ・アクリサンデー接着剤※
- ・両面テープ（薄手のものをご使用ください）
- ・マスキングテープ
- ・ハンダ付け工具類
- ・ケーブル、コネクタ、収縮チューブなど

※接着剤はアクリル材専用のアクリサンデー接着剤がおすすめです。

低粘度の瞬間接着剤でも製作が可能ですが、白化して曇ってしまったり、
強度が不十分になる可能性があります。

銅板のハンダ付けを行う際に、保持するクリップなどがあると便利です。

また、ハンダ付け時にフラックスを用いた方がより確実です。

■製作時、ご使用においてのご注意

※アクリル材や銅板の端面が鋭利になっていますので、指を刺したり切ったりしないよう注意してください。

※揮発性の接着剤を用いる際は、換気に注意して作業を行ってください。

※やけどに注意してハンダ付け作業をおこなってください。

※当パーティセットの組み立てにおいて、サポートなどはございません。

※アクリル材の耐熱温度は約 80°C です。電池が異常発熱するような使用には適しません。

※当製品の製作や使用してのいかなる損害についても補償できません。

まずアクリルパーツの接着より行なっていきます。



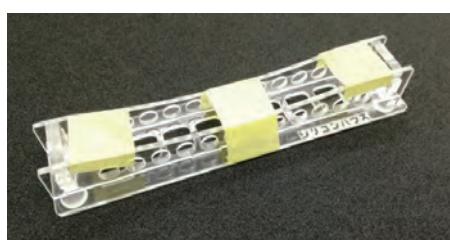
1. アクリルAの裏側から、ゴム脚を貼り付けます。アクリルの穴をふさがないように注意してください。



2. アクリルC、Dをそれぞれ重ねておきます。この段階では接着しません。



3. アクリルA、B、C、Dを仮組。向きの間違いがないように注意してください。



4. 各部品をマスキングテープで固定、アクリルAにBを先に接着、続いてC、Dを接着していきます。各部品がおおむね直角が出ているか、確認しながら作業を進めてください。各所に接着剤を流したら、接着剤の硬化までそのままで固定しておきます。



- 5.Dの穴にスペーサーを差し込み、スムーズに動くか確認。動かなかったり、渋い場合は4mmのドリルや丸めた紙やすりで調節します。



6. アクリルE、Fを重ねます。
←断面図
重ねる向きに注意してください。



7. 重ねたEFをビス、ワッシャ、ナットで留めないように仮固定をし、合わせ面より接着剤を流し込み、接着します。接着後のパーツはEFと表記します。



8. 接着したEFにビスを通して、スプリングをかぶせたスペーサーを通してします。



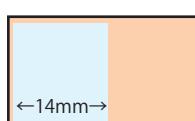
- 9.Dの穴に通し、ワッシャ、ロックナットの順で組み立てます。ロックナットを締めすぎると、スペーサーが膨らんで動きが渋くなりますので注意してください。

ここでアクリルの接着作業は完了です。

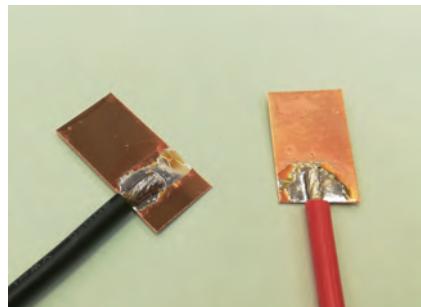
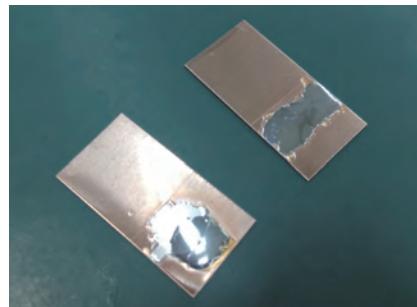
各部の接着が不十分でないか、EFのパートとDに通したスペーサーの動きが悪くないかを再度確認してください。

EFパートが引っかかる場合は、やすりで少し削って調整してください。

銅板のサイズについて

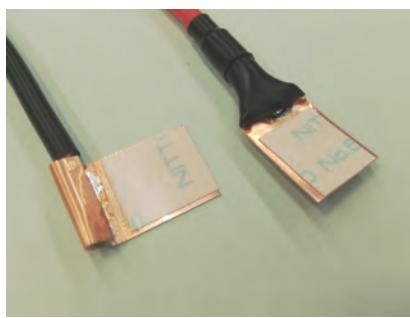
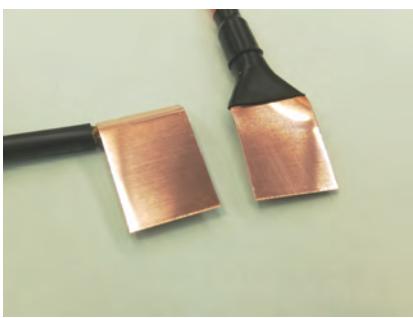


長さ約25mmのうち、約14mmをホルダーへの貼り付けスペースとして使います。
残りのスペースでハンダ付けを行ってください。
アクリルが熱で変形する恐れがあるため、
ハンダ付けが終わってからホルダーに貼り付けます。



10. 銅板、コードに予備ハンダを行います。

充電環境に合わせたお好みの向きでコードをハンダ付けしてください。



12. ケガ防止や絶縁のために、
端子を丸めたり、熱収縮チューブで
カバーをしておきます。

13. ホルダーへの貼り付けスペースに、
カットした両面テープを貼り付けます。

14. 銅板をC、EFに両面テープで貼り付けます。
+の極性はお好みですが、
C側を+にした方が使いやすいと感じました。



15. 使用する充電器に合わせて
コネクタを取り付ければ完成です！

電池の取り付け方



スプリング側の電池を先に入れて、2本目の電池で押すようにすると簡単に電池を取り付けできます。
※電池の向きに注意してください。

電池の外し方



スプリング側の端子を押し込むと、縮む分だけ少し隙間ができるので、無理なく電池が取り出せます。

シリコンハウス

共立電子産業株式会社
シリコンハウス営業所

大阪市浪速区日本橋 5-8-26
TEL:06-6644-4446
e-mail:silicon@keic.jp